



報道関係者各位

平成 24 年 9 月 26 日
青森県立保健大学

特殊メイクで傷をつくった模擬患者を取り入れた 災害看護学トリアージ演習について

I. 災害看護学について

青森県立保健大学では、3年次に、災害看護学（15時間 1単位 選択科目）を行っています。

- 科目のねらい
- ①災害が人々の健康に及ぼす影響と障害について学習する
 - ②災害時に看護が果たす役割、災害時看護支援活動について学習する
 - ③組織的、制度的災害対策について学習する

科目の概要：災害の理解と防災、災害への備え、災害時の看護専門職の役割と機能、原子力と放射線の理解、原子力防災、災害時のボランティア活動、災害医療の特徴、トリアージについてなど。

II. 特殊メイク(ムラージュ)とは

特殊メイク(ムラージュ)とは、フランス語で「型どり、成型」を意味する言葉で、16世紀のルネッサンス期の「ろう人形」が始まりと言われ、日本では明治以降、皮膚科の教育に活用されてきました。現在では、災害医療の訓練などで使用される外傷などを模造したダミー人形や、患者役の身体に特殊メイクで模造された外傷・血液などのことを指し、トリアージ訓練などに用いられています。

III. 演習概要

これまででは、机上でトリアージ訓練を行ってきましたが、今年度は、演習をさらにリアルな体験とするために、救護所でトリアージを行うという設定で行います。傷病者役は、特殊メイク(ムラージュ)で傷を模造し、学生は本番さながらに限られた時間でトリアージを行います。自分で実際に傷病者をアセスメントし、トリアージタグに記入し傷病者役に装着します。臨場感を出すために、講堂で講義後に被災したという設定で、傷病者をトリアージするブースは野外にも設置します。トリアージが正しく行われたかどうか、注意すべき点は何か、ファシリテーターが病状を説明しフィードバックを行います。

リアルな演習を行うことで、災害看護の関心を高め、学習を深める効果が期待できます。

期間：平成 24 年 10 月 2 日 3・4 時限目

場所：青森県立保健大学 講堂

問い合わせ*****

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-2058 FAX:017-765-2059

担当：村上真須美
